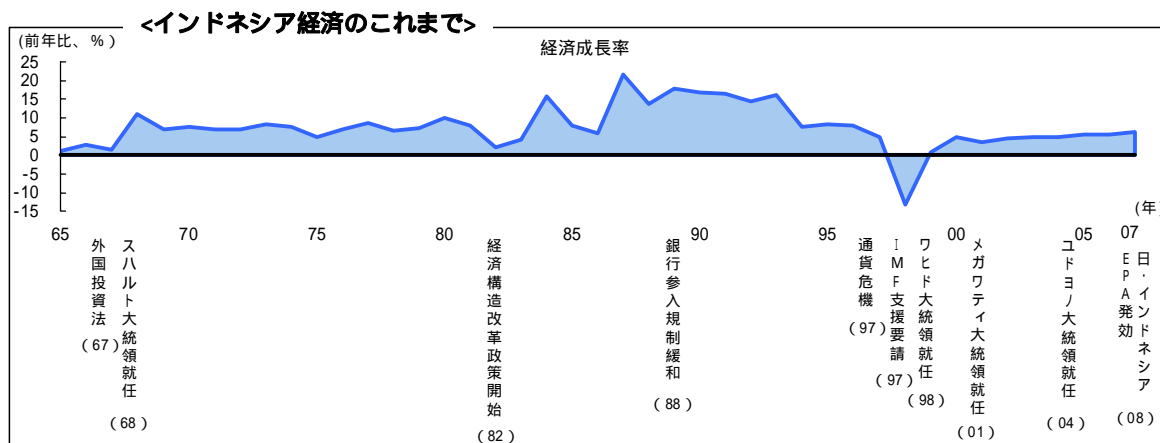


# 8 インドネシア

# Republic of Indonesia

<2007年>

人口	2億2,249万人 (日本の約1.8倍)	財政会計年度	1月~12月
一人当たりGDP	1,925ドル	為替制度	管理フロート制
産業構造(GDP構成比)	1次産業 13.8% 2次産業 46.7% 3次産業 39.4%	通貨	ルピア 1米ドル=9,139ルピア
		面積	190.5万km <sup>2</sup> (日本の約5倍)



## インドネシアの主要経済指標

		96~05年	2006年	2007年	2008年			
					政府	A D B	I M F	民間機関
実質GDP	前年比%	2.9	5.5	6.3	6.4	6.0	6.1	実質GDP
個人消費	同上	3.8	3.2	5.0	-	-	-	平均
固定資本形成	同上	2.6	2.5	9.2	-	-	-	5.9
製造業生産	同上	4.1	1.6	5.2	-	-	-	最大
消費者物価	同上	14.3	13.1	6.4	6.5	6.8	7.1	6.3
失業率	%	7.5	10.3	9.1	-	-	-	最小
経常収支	億米ドル		108.4	110.1	-	91.3	-	4.0
(GDP比)	%		(3.0)	(2.6)	-	(1.9)	(1.8)	(9社)
財政収支	億米ドル		31.8	44.3	-	-	-	
(GDP比,年度)	%		(0.9)	(1.0)	-	-	-	
政府債務残高	億米ドル		457.2	518.2	-	-	-	
(GDP比,年度末)	%		(12.5)	(12.0)	-	-	-	

(備考) インドネシア統計局、財務省、IMF "International Financial Statistics"、"Government Finance Statistics"、

A D B "Key Indicators" による。08年政府見通しは08年度補正予算(08年4月)による。A D Bは

"Asian Development Outlook" (2008年4月)、I M Fは"World Economic Outlook" (2008年4月)による。

## <2007~08年の経済>

2007年の経済成長率は、輸出が緩やかに増加する中、個人消費を始めとする内需が好調であったことから、前年比6.3%と06年(同5.5%)を上回り堅調に推移した。消費者物価上昇率は、05年10月の燃料小売価格の引上げにより06年は10%台まで上昇したが、07年はその反動で前年比6.4%に落ち着いた。こうした物価情勢を受け、政策金利は年前半を中心に引き下げられ、12月には8.00%とされた。

08年は、年初から物価上昇が加速し、金融当局は金利引上げに転じている(5、6月にそれぞれ0.25%ポイント引上げ)。景気への警戒感は強まっているものの、引き続き堅調な個人消費等の内需が景気をけん引するとみられることから、成長率は6%程度になると見込まれる(政府見通し6.4%(08年4月時点)、民間機関8社の平均5.9%(07年5月時点))。